

もっと  
すごい!

PORT OF HACHINOHE



2023年3月発行

NO. 53



ハチヨコ

ポート博士

# 八戸港だより



TOPIX

P2・2022年八戸港コンテナ貨物  
取扱量統計(速報値)

P3・八戸セミナー2022開催  
・みなと通信

P4・三陸沿岸道路等開通に係る  
八戸港へのアクセス性の向上について

P5・海外経済協力員レポート  
日本にフレンドリーな街 シアトル

P6・「10th 沖縄大交易会 2022」に参加しました  
～ASEAN向け通年マッチング支援事業～  
・北米向け食品輸出拡大支援事業

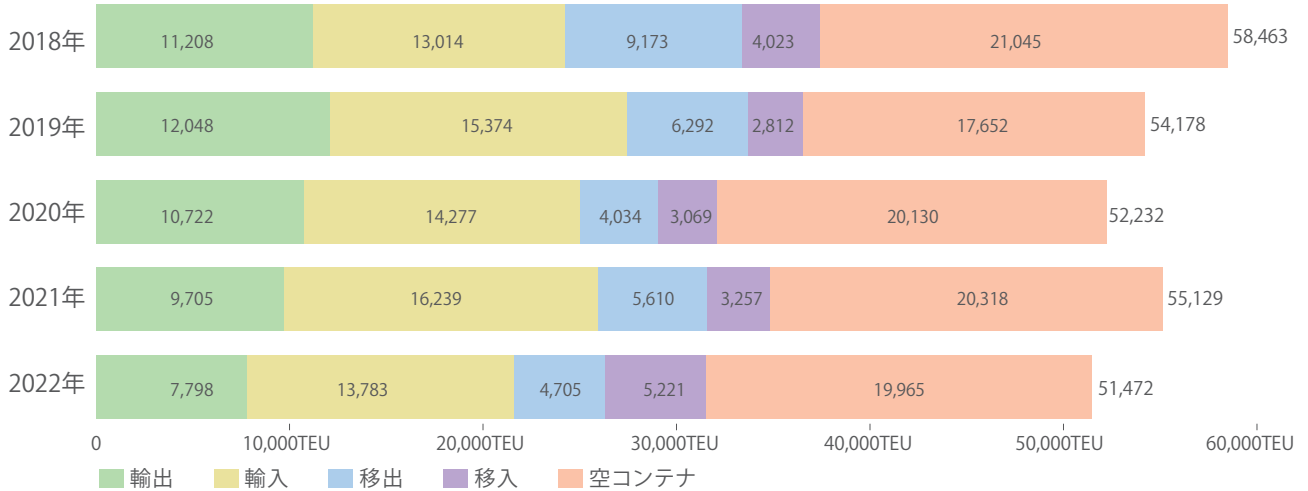
P7 ジェトロ青森  
貿易情報センター所長 糸長 真知氏 寄稿  
「ビジネスの国際化は避けられない」

P8・航路情報、各お問い合わせ先等

# 2022年八戸港コンテナ貨物取扱量統計(速報値) (単位:TEU)

## 8年連続5万TEU超え!

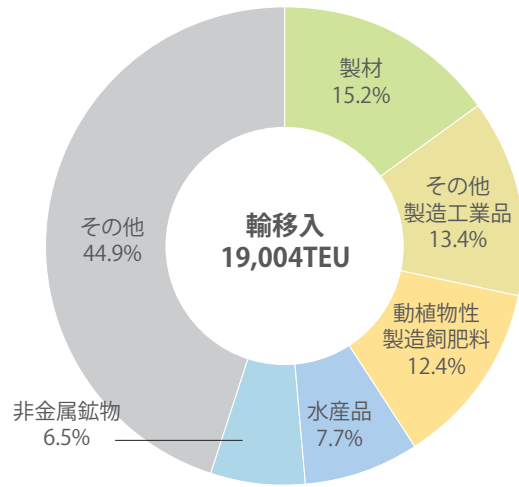
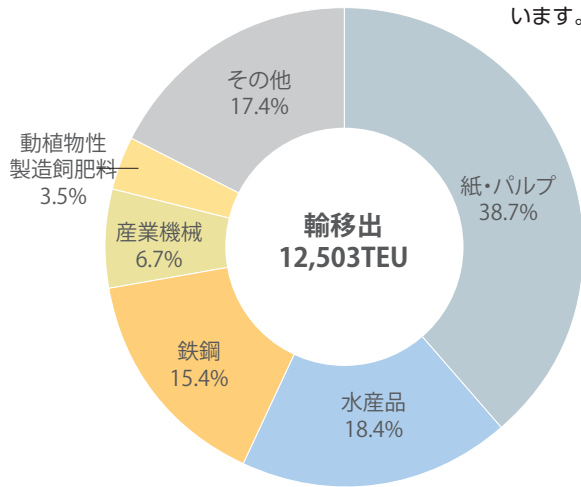
### 取扱量の推移



※TEUとは、コンテナ船の積載能力を示す単位で、1TEUは20フィートコンテナ1個分を示します。コンテナを単純合計数で表示する代わりに、20フィートコンテナ1個を1、40フィートコンテナ1個を2として、コンテナ貨物量をこの数値の合計で表示する計算方法です。

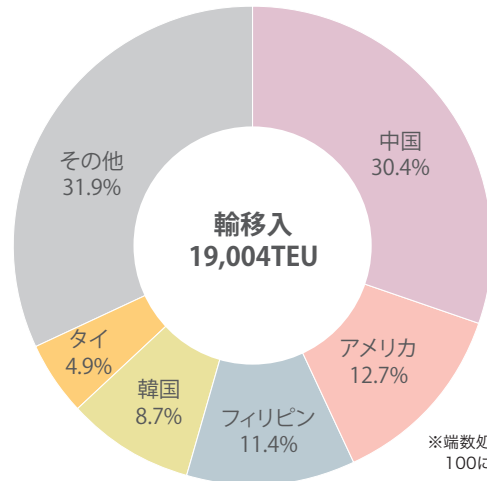
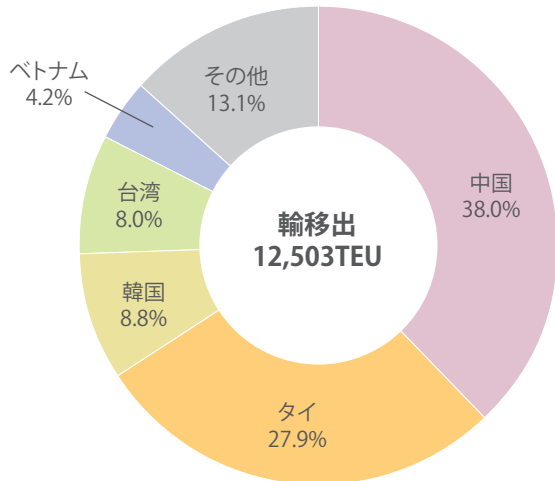
### 2022年 コンテナ貨物品種別内訳

2022年のコンテナ貨物の品別内訳(コンテナ個数での割合)を見ると、輸移出では紙・パルプが38.7%で1位、輸移入では製材が15.2%で1位となっています。



### 2022年 コンテナ貨物国別内訳

国別の内訳をみると、昨年に引き続き、中国が、輸移出は38.0%、輸移入は30.4%でともに1位となりました。



※端数処理の関係で合計は100になりません。

# 八戸セミナー2022開催

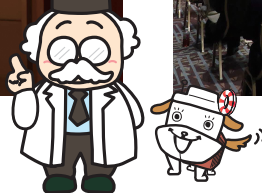
文 / 八戸港国際物流拠点化推進協議会 書記 工藤 大和 くどう やまと

八戸市・八戸港国際物流拠点化推進協議会・八戸市企業誘致促進協議会は、八戸港の利用促進及び当市の立地環境の優位性を首都圏及び中部圏の企業にPRするため、令和4年7月26日に名古屋、翌27日に東京で「八戸セミナー2022」を開催しました。

新型コロナウイルス感染症の影響で開催は3年振りとなりましたが、セミナーには船会社をはじめ、荷主や関係者など延べ215名(東京148名、名古屋67名)の皆様にご出席いただきました。

セミナーでは、熊谷雄一八戸市長から企業誘致や八戸港の利用促進を図るための各施策を紹介するとともに、名古屋会場では、エプソンアトミック(株) 代表取締役社長 大塚 勇 様、(株)アスマーク 代表取締役 町田 正一 様から、東京会場では高麗海運ジャパン(株) 営業部 輸出グループ デジタル戦略チーム 係長 松永 弘毅 様、マネックス証券(株) 執行役員 カスタマーサービス本部長 安原 敦 様から、それぞれ八戸港におけるサービスや八戸進出のメリットについてご講演いただきました。

情報交換会では、セミナーの内容を踏まえた積極的な意見交換・交流を通して、世界に開かれた八戸市・八戸港の魅力を個別にPRし、八戸セミナー2022の幕を閉じました。



3年ぶりに  
開催したワン!



## ～八戸港湾・空港整備事務所より～

当事務所では、航行船舶の安全確保と物流の効率化を図るため、航路・泊地を所定の水深まで掘りさげの浚渫工事をポンプ浚渫船により行っております。

ポンプ浚渫船で吸い込んだ土砂は、約5.5キロある排砂管をとおり市川地区にある土砂処分場へ排出され、土地の造成をしております。所定水深が確保されることで大型船の航行・停泊が可能となり、物流の効率化に寄与しています。

浚渫工事の施工にあたっては、排砂管への標識灯設置や安全監視船配備など、航行船舶の安全に留意しながら実施しております。引き続き、関係者の皆様のご理解、ご協力を宜しくお願いいたします。



# 三陸沿岸道路等開通に係る八戸港へのアクセス性の向上について

三陸沿岸道路及び上北自動車道の全線開通により八戸港へのアクセス性が向上しました！

## 三陸沿岸道路とは

三陸沿岸道路は、八戸市から仙台市までの沿岸部を結ぶ延長359kmの自動車専用道路で、国土交通省が東日本大震災からの1日も早い復興を図るためのリーディングプロジェクトとして整備を進め、令和3年12月18日に全線開通しました。

### ①日本最長の連続無料区間（八戸是川IC～鳴瀬奥松島IC）を有する高速道路！

経路	距離	所要時間 (目安)	高速道路料金 (大型車)
三陸沿岸道路 (八戸是川IC～仙台北IC)	約354Km	5時間	1,420円*
東北自動車道 (八戸是川IC～仙台宮城IC)	約300Km	3時間25分	10,900円

\*鳴瀬奥松島IC～仙台北IC間(26.1km)のみ有料

### ②雪が少ない沿岸部を走行！

岩手県沿岸部は、内陸部の約1/4の降雪量で、冬季でも安心して通行できます。

年間降雪量（過去30年間の平均）	
岩手県沿岸部（宮古市）	87cm
岩手県内陸部（北上市）	341cm

### ③災害に強い道路！

ルートは、東日本大震災津波の浸水区域を95%回避し、残り5%は高さのある橋梁で通過しています。

また、災害時には三陸沿岸道路が避難場所になるように、避難階段や緊急連絡路が設置され、防災機能を強化しています。

#### 岩手県方面から八戸港へのアクセス（自動車）

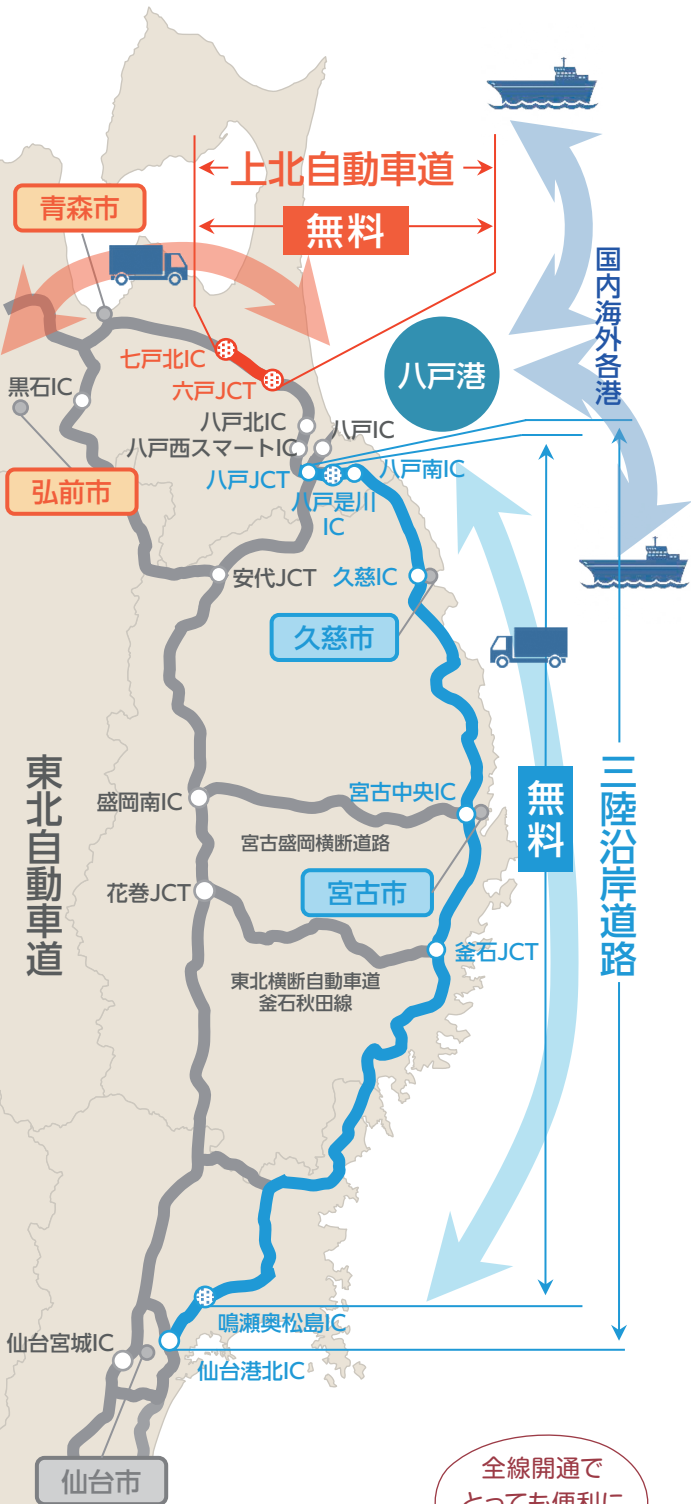
久慈市	三陸沿岸道路を利用 約1時間	八戸港
宮古市	三陸沿岸道路を利用 約2時間	

## 上北自動車道とは

上北自動車道は、東北自動車道につながる第二みちのく有料道路の接続地点である上北郡六戸町（六戸JCT）を起点に、東北町を経由し、七戸町（七戸北IC）までの総延長23.7kmの自動車専用道路で、令和4年11月27日に全線開通しました。

#### 青森県内方面から八戸港へのアクセス（自動車）

青森市	みちのく有料道路、上北自動車道、東北自動車道を利用 約1時間30分	八戸港
弘前市	みちのく有料道路、上北自動車道、東北自動車道を利用 約2時間30分	



全線開通で  
とっても便利  
になったワン！



# 日本に フレンドリーな街 シアトル

Seattle

文 / 海外経済協力員 まつもと やす き 松本康樹  
(アメリカ合衆国ワシントン州カークランド市)



レークワシントンの風景

マリナーズやコーヒーの街として知られるシアトルは、日本に最も近いアメリカ本土の都市で、約10時間のフライトで到着。シアトル国際空港には日本からの直行便が毎日、日本航空、全日空、デルタ航空より就航します。海路ではシアトル港とタコマ港を利用でき、コンテナ貨物取扱量は全米4位の規模を誇ります。陸路については南北方面にI-5、東方面にI-90の州間高速道路が通り、全米各都市を結びます。

シアトルは全米18位に当たる人口約78万人の米北西部最大都市で、周辺を含む都市圏では400万人を超え、引き続き目覚ましい成長が見られます。その理由のひとつに、アマゾン、マイクロソフトが本社を構え、グーグル、メタ(旧フェイスブック)、アップルもエンジニアリング・センターを設置するなど、世界的IT企業がシアトルに拠点を持つことが挙げられます。そうした企業の新社屋建設に伴い、周辺で居住地域や商業施設が拡大しており、シアトルの街全体の再開発を後押ししています。外国からの人材流入も顕著で、都市圏全体の19.2%を移民が占め、しかも世帯収入が年間9万ドルを超える高所得層が中心であることは大きな特徴と言えます。ダイバーシティ化が進み、LGBTQなど性的マイノリティー層や新しい文化に寛容な土地柄が多く、若者を引き付け、州外からの移住者も増加しています。

コストコ、スターバックス、ノードストロームの本社やボーイングの工場があり、小売、卸売、製造もまたITに並ぶ主要産業となっています。所得税が法人、個人ともにかからない全米でも珍しい州で、オフィス賃料や公共料金が大都市と比べて割安なこともあり、多くの企業がビジネス拠点を持ちます。日本から進出する主な企業に、任天堂、日本郵船、旭硝子、住友林業、コニカミノルタ、アイコムがあり、

食品では日本水産、紀文、ニチレイ、マルハニチロ、東海澱粉、日清製粉、伊藤園、ニチモウ、東洋水産、阪和興業など多数。また、隣接するオレゴン州では、味の素、ヤマサ、サンクゼールもビジネスを展開します。

シアトルのあるワシントン州は、日本からの輸入額が6億4600万ドルと、カナダ、中国に続く第3位。長年、貿易取引において良好な関係を築いており、2022年には「日本国政府とアメリカ合衆国ワシントン州との間の経済及び貿易関係に関する協力覚書」も更新されました。兵庫県神戸市とシアトル、青森県八戸市とフェデラルウェイなど、多くの都市が日本と姉妹都市関係にあります。

ここ10年ほどは、和食ブームにより日本の食品がますます広く受け入れられるようになってきました。日本企業も参入しやすい土台が整いつつあるシアトルで、チャンスをつかんでみませんか。バイヤーからインフルエンサーまでの幅広いコネクションを生かし、シアトル進出に向けたテストマーケティングを支援しております。



シアトル市内の様子

## 「10th 沖縄大交易会 2022」に参加しました ～ASEAN向け通年マッチング支援事業～

文／Year-round ASEAN oriented  
matching support service  
実行委員会 事務局員

くどう やまと  
工藤 大和

コロナ禍により商談のオンライン化が急速に進展しましたが、商品をしっかりと確認いただける対面での商談も行いたいとの声が寄せられたことから、東南アジア等に係るバイヤーとの商談機会として、八戸圏域の企業3社と「10th 沖縄大交易会 2022」に参加しました。

この商談会は、沖縄県が東アジアの中心に位置する地理的優位性を活かし、国際物流貨物ネットワーク（沖縄国際航空物流ハブ）の構築・拡大を目指す一環として、そのネットワークを活用し、日本全国の特産品等の海外販路拡大に繋げることを目的に開催する商談会で、今回で10回目となる日本最大級の食の国際商談会となります。

コロナの影響により、8月から12月にかけてのオンライン商談と今回11月末に参加したリアル商談を併催するハイブリッド開催となりましたが、サプライヤー196社、バイヤー274社（うちリアル商談114社）と多数の参加があり、また、リアル商談には海外バイヤーの姿も多数見られ、コロナによる経済社会活動の制限が解消されつつあることを感じさせられる活気のあるものとなりました。

リアル商談は、沖縄コンベンションセンター（宜野湾市）を会場として、沖縄大交易会事務局の事前マッチングによるものを中心に、参加した3社合計で、2日間計42商談（うち海外向け23商談、国内向け19商談）を行い、多くが継続商談となりました。会場が沖縄県ということで移動時間は相応に要しますが、参加企業におかれましては、短期間で多くのバイヤーと実りのある商談機会を持つことができたのではないかと思います。今後も引き続き成約に向けてフォローに努めてまいります。



商談風景



会場：沖縄コンベンションセンター

## 北米向け食品輸出拡大支援事業

文／八戸市商工課 たかはし はなえ  
高橋 華絵



Winter Fancy Food Show 2023の様子



シアトルでの商談風景



八戸市では、八戸圏域の町村（三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町）と連携しながら、北米向け地場産品の販路拡大に取り組んでいます。2014年のハワイ・シアトルを始め、2019年にはニューヨークにおいて販路開拓に取り組んできました。

2022年度は、昨年度に引き続き八戸市海外経済協力員の松本康樹様が代表を務め、池田明美様が所属するEncompass Japan Inc.様を現地パートナーとして、また、JETRO青森との共催によりシアトルを中心とした販路拡大支援事業を実施しました。

10月に開催されたミツワマーケットでの「東北&うまいものフェア」では、八戸圏域メーカーの商品がサンノゼ・ニュージャージーを中心に全米のミツワマーケット11店舗で販売されました。また、圏域メーカーの渡航による現地活動として、2023年1月15日～1月17日には、ラスベガスにおいて開催されたWinter Fancy Food Show2023へ出展したほか、続く1月18日～20日にはシアトルにて参加メーカーによる現地での営業訪問を実施しました。

現地では、八戸圏域地場産品の安全性・機能性・品質の良さに高い評価をいただき、購入された店舗からは継続取引の希望もいただきました。

今回の事業では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大以降、初の現地での販売活動となりましたが、今後の地場産品の販路拡大に多くの可能性を感じたところであり、現地パートナーと連携しながら2023年度も引き続き北米向けの販路拡大に取り組んでまいります。

# ビジネスの国際化は避けられない

文／独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ）  
青森貿易情報センター 所長 糸長 真知



青森県下の農林水産物・食品の輸出額が2021年に259億円と過去最高を記録したのは記憶にあたらしいところです。青森県が策定した「青森県輸出・海外ビジネス戦略」では、2019年度から2023年度までに県産農林水産品輸出額を290億円まで引き上げることが目標に置かれ、生産者、事業者、企業の県内関係者・関係機関らがタッグを組んで取り組みが行われてきました。同戦略で謳われた期間のなかでは、想定を超えた世界情勢の様々な変化があり、一時的に輸出が目減りした時期はありましたが、着実に県の輸出が拡大しています。農林水産物・食品の輸出に携わる方々の継続した取り組みが、行政の支援などと相まって形・数字に表れています。今後、輸出の目標は新たな戦略の基にレビューされていくと思いますが、もう一段高い目標に向かってブレイクスルーするためには、現存の商流の拡大、更なる市場開拓、効率的な物流構築などに加えて、新たな輸出プレイヤーの発掘も重要となってきます。

県の2021年輸出額259億円のうち、金額ベースで上から順に単体の品目をみますと\*生鮮部門ではリンゴ146億1,000万円（農林水産物・食品輸出額全体における構成比56.4%、前年比49.0%増）が他を大きく引き離しています。次いで水産物では軟体動物13億600万円（同5.0%、同288.2%増）、ホタテ11億5,000万円（同4.4%、同57.3%減）、なまこ10億9,000万円（同4.2%、同51.2%増）、すけそうだら8億8,300万円（同3.4%、同3,257.6%増）、さば8億500万円（同3.1%、同8.9%減）などが続きます。水産物の需要が世界的に高まるなか、多くの品目で前年比増となりましたが、一方で国内側の事情で供給が賅えなかった品目が前年比減となりました。

加工品部門では、リンゴジュース7億8,000万円（同3.0%、同49.8%増）、清酒1億6,200万円（同0.6%、同87.2%増）の2品目で、いずれも大きな伸びがありました。調整品部門で顕著な伸びがあったのは、なまこの調整品3億3,800万円（同1.3%、同1293.2%増）、いかの調整品2億9,200万円（同1.1%、同1万2278.3%増）、さばの調整品2億1,400万円（同0.8%、同50.7%増）、ホタテの調整品1億3,500万円（同0.5%、同1万1071.6%増）、などとなっています。いか、ホタテの調整品は、全体における構成比はまだ大きくはないものの、前年比1万%増と急伸した品目でした。実際、ジェトロ青森が水産関係事業者の海外市場開拓支援を2022年、2023年と進めるなかで、とりわけ水産調整品に対する海外需要の高まりを感じます。

\*出典「青森県の貿易2022年」ジェトロ青森

国内有数の農林水産県である青森県の事業者におかれては、海外における様々な農林水産物・食品の需要の高まりに応えられ

る商材・ポテンシャルを持っておられ、そのポテンシャルを中長期で実ビジネスにつなげていくことが肝要です。海外需要の高まりのなか「ビジネスの国際化は避けられないのだ」という意識で取り組むことが求められているのではないのでしょうか。円安を背景に輸出向けの引き合いが強いのは確かで、これから輸出をはじめてみようかと検討している企業にとって追い風です。行政や関係機関の支援プログラムは、企業の取り組み段階に応じて各種用意されています。八戸市でも北米やASEAN向けに食品輸出拡大支援事業など精力的に手厚いサポートを行っており、ジェトロも見本市・商談会などで協力しています。輸出を新たに始める企業にとって、これら支援策を活用しない手はありません。

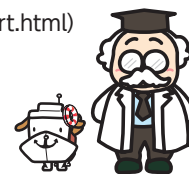
ジェトロは、経済産業省、中小企業庁、中小機構、商工会議所、商工会らと連携して、「はじめて輸出」（新たな輸出の可能性を秘めた事業者）の掘り起こしを目的に、新規輸出1万者支援プログラムを開始しました。支援プログラムでは、「海外バイヤーとはどうやって巡り合うの?」、「相手国のラベル表示のルールにどう対応したらよいのか」、「海外バイヤーと商談に単独で臨むのはハードルが高い…」、「価格設定や実務など学びたい」など事業者の多岐にわたるお悩みに合わせ、それぞれに適したサポートをご提案する流れになっています。

世界的な社会情勢の変化にともない、ジェトロではリアルな海外見本市や商談会の場の提供とともに、デジタル/オンラインでの商材プロモーションや商談サポートも強化しています。海外に直接出向いて商談や市場開拓するのはなかなかリソースが割けないという企業であっても、国内輸出商社とのマッチングやオンラインで海外バイヤーとのやり取りを行える機会が増え、これらの点でかつてに比して新たに輸出にトライするハードルは低くなっていると言えます。

まずは、最寄りの商工会議所や商工会にお問い合わせいただくか、ジェトロのポータルサイトにアクセスいただくのが初めの一歩です。

（ポータルサイト

<https://www.jetro.go.jp/ichiman-export.html>）



独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ）  
青森貿易情報センター  
〒030-0802 青森市本町1-2-15 5階  
Tel.017-734-2575 Fax 017-773-2877

八戸港コンテナ定期航路就航状況 (2023年3月現在)

□ 外航 □ 国際フィーダー □ 国内航路

コンテナ航路	船社名(日本総代理店)	集荷代理店	寄港間隔	寄港地
中国・韓国航路 (共同配船)	南星海運(株)	八戸港湾運送(株)	週2便 (月・土)	(NCQ 航路) 天津新港→大連→釜山→博多→常陸那珂→仙台→ <b>八戸(月)</b> →秋田→釜山新港→釜山→蔚山→光陽
	高麗海運(株)	ナラサキスタックス(株) 八戸支店		(NSP 航路) 上海→寧波→釜山→清水→川崎→小名浜→仙台→ <b>八戸(土)</b> →苫小牧→境港→釜山→蔚山→光陽
韓国航路 (協調サービス)	長錦商船(株)	八戸通運(株)	週2便 (火・土)	(THS2 航路) 釜山→釜山新港→仙台→ <b>八戸(火)</b> →苫小牧→舞鶴→境港→釜山→釜山新港→清水→常陸那珂→仙台→ <b>八戸(土)</b> →秋田→釜山
	興亜海運(株)	北日本ポートサービス(株)		
北米航路	Westwood Shipping Lines	八戸港湾運送(株)	休止中	シアトル・バンクーバー・釜山ほか
国際フィーダー航路	(株)横浜コンテナライン	八戸通運(株)	週1便(金)	横浜→仙台→八戸(金)→苫小牧
	井本商運(株)	八戸港湾運送(株)	週1便(金)	東京→横浜→仙台→八戸(金)→苫小牧→釜石
	鈴与海運(株)	八戸港湾運送(株)	週1便(火)	横浜→東京→八戸(火)→苫小牧
国内航路	鈴与(株)	八戸港湾運送(株)	月1便	清水・市原・大船渡・函館・苫小牧

主な寄港地と八戸港の所要日数(最短) (2023年3月現在)

寄港地	輸出	輸入
釜山(韓国)	4	5
光陽(韓国)	6	※
蔚山(韓国)	5	※
基隆(台湾)	9	14
台中(台湾)	10	15
高雄(台湾)	10	15
香港(中国)	10	10
大連(中国)	8	7
青島(中国)	9	8
上海(中国)	8	9
天津新港(中国)	9	14
寧波(中国)	9	10

寄港地	輸出	輸入
蛇口(中国)	13	14
シンガポール	17	24
レムチャパン(タイ)	15	18
マニラ(フィリピン)	17	15
ホーチミン(ベトナム)	13	14
ハイフォン(ベトナム)	12	12
タンジュンプリオク(インドネシア)	16	16
ムンバイ(インド)	31	30
ポートクラン(マレーシア)	18	20
ドバイ(UAE)	34	39
タコマ(米国西岸)	27	34
ロングビーチ(米国西岸)	25	27

寄港地	輸出	輸入
シアトル(米国西岸)	27	34
ニューヨーク(米国東岸)	53	58
バンクーバー(カナダ)	28	32
ブリスベン(オーストラリア)	28	24
オークランド(ニュージーランド)	35	30
サウサンプトン(イギリス)	50	50
ルアーブル(フランス)	40	50
ブレーメルハーフェン(ドイツ)	45	45
ハンブルク(ドイツ)	45	50
ロッテルダム(オランダ)	41	42
アントワープ(ベルギー)	50	55

※光陽・蔚山(韓国)については、釜山にまともた後に輸入されます。

八戸港ご利用のお問い合わせは次の各社へ!

海貨業者

- ◆八戸通運株式会社 海運部  
(株)シノコー成本、(株)横浜コンテナライン 集荷代理店  
TEL:0178-29-0202 FAX:0178-20-3281
- ◆八戸港湾運送株式会社 コンテナ事業部  
(南星海運ジャパン(株)、WSL、井本商運(株)、鈴与海運(株)、鈴与(株)、オリエントオーバーシーズコンテナラインリミテッド (OOCL)日本支社、  
インターエイシアライン(株) 集荷代理店)  
TEL:0178-29-3177 FAX:0178-29-3130
- ◆新丸港運株式会社 営業部  
TEL:0178-20-2325 FAX:0178-20-2356
- ◆八戸運輸倉庫株式会社 営業部  
TEL:0178-28-2401 FAX:0178-28-6976
- ◆三八五流通株式会社 八戸区域事業所  
TEL:0178-52-7755 FAX:0178-52-7751
- ◆日本通運株式会社八戸支店  
TEL:0178-20-3040 FAX:0178-20-3154
- ◆ナラサキスタックス株式会社八戸支店  
(高麗海運ジャパン(株) 集荷代理店)  
TEL:0178-21-6000 FAX:0178-21-6050
- ◆北日本ポートサービス株式会社  
(SITC JAPAN(株)、興亜LINE(株) 集荷代理店)  
TEL:0178-20-2148 FAX:0178-29-3130

海運会社(国内総代理店)

- ◆南星海運ジャパン株式会社 【東京都】 中国・韓国航路 TEL:03-5843-6100 FAX:03-5843-6110
- ◆高麗海運ジャパン株式会社 【東京都】 中国・韓国航路 TEL:03-3500-5051 FAX:03-3500-5095
- ◆株式会社シノコー成本 【東京都】 韓国航路(長錦商船(株)) TEL:03-6278-6032 FAX:03-6278-6038  
(興亜LINE(株)) TEL:03-3273-4981 FAX:03-3281-8605
- ◆センワマリタイムエージェンシー株式会社 北米部 【東京都】 WSL:北米航路  
TEL:03-5733-7203 FAX:03-5733-7208
- ◆株式会社横浜コンテナライン 【横浜市】 国際フィーダー航路(横浜)  
TEL:045-227-8863 FAX:045-681-8885
- ◆井本商運株式会社 【神戸市】 国際フィーダー航路(東京・横浜)  
TEL:078-322-1600 FAX:078-322-1625
- ◆鈴与海運株式会社 【静岡市】 国際フィーダー航路(東京・横浜)  
TEL:054-354-3100 FAX:054-354-3102  
【東京営業所】 TEL:03-3432-7159 FAX:03-3432-0896
- ◆鈴与株式会社 【静岡市】 国内定期航路(清水・苫小牧)はこ廻船東廻り航路  
TEL:054-365-1348 FAX:054-365-1311
- ◆オリエントオーバーシーズコンテナラインリミテッド(OOCL)  
日本支社【東京都】インド・東南アジア航路(横浜港トランシップ)  
TEL:03-3493-6001 FAX:03-3493-6405
- ◆インターエイシアライン株式会社 【東京都】 東南アジア航路(横浜港トランシップ)  
TEL:03-3580-6555 FAX:03-3580-6575
- ◆SITC JAPAN株式会社 【東京都】 中国・アジア航路(横浜港トランシップ)  
TEL:03-6262-7778 FAX:03-6262-7117
- ◆ジャパン・パン・ラインズ株式会社 【東京都】 小口混載貨物サービス(輸出)  
TEL:03-6779-9610 FAX:03-6779-9650
- ◆イーキューワルドワイド株式会社 【東京都】 小口混載貨物サービス(輸出入)  
TEL:03-3275-5205 FAX:03-3275-5203



八戸港国際物流拠点化推進協議会 Hachinohe Port Promotion Commission

事務局 / 八戸市商工労働観光部商工課 貿易振興グループ  
〒031-8686 青森県八戸市内丸一丁目1-1 八戸市庁別館5階 TEL.0178-43-2111(代表) TEL.0178-43-9244(直通) FAX.0178-43-2256  
E-mail) hppc@hachinohe-port.org (ホームページ)https://hachinohe-port.org/